

○ DV（ドメスティック・バイオレンス）について

DV（ドメスティック・バイオレンス）は「配偶者からの暴力」とも言われ、夫婦等の親密な関係で一方が暴力により相手を「人格的に支配すること」を指します。

犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害ですが「単なる夫婦喧嘩」や「プライベートな問題」などに見なされやすく、あまり表面化せず周囲が気づかないうちに暴力が継続化し、被害が深刻化しやすい特徴があります。

【暴力の形態】

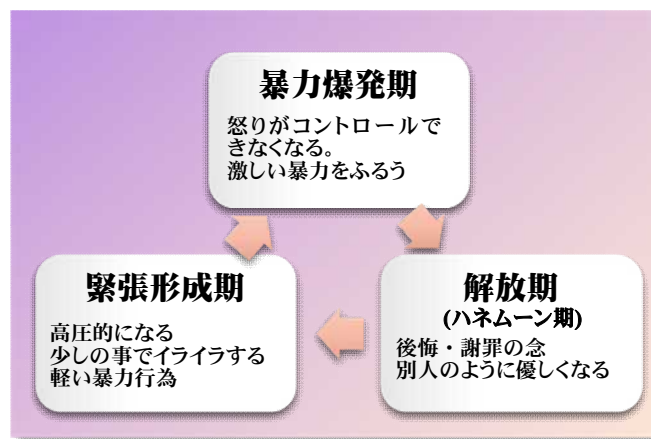
身体的暴力 平手で打つ/殴る/足で蹴る/首を絞める/ものを投げつける等	精神的暴力 大声で怒鳴る/束縛する/無視をする/自信を失わせるような言動をとる等	性的暴力 性行為を強要する/中絶を強要する/避妊に協力しない等
経済的暴力 生活費を渡さない/借金を重ねる/支出を細かくチェックする/仕事を辞めさせる等	社会的隔離 外出や親族・友人との付き合いを制限する/手紙や電話を細かくチェックする等	子どもを利用した暴力 子どもに暴力を見せる/子どもに危害を加えると言って脅す/子どもを取り上げる等

【DV のサイクル】

DV には『緊張形成期』『爆発期』『解放期』のサイクルがあり、何度もくりかえされるといわれています。ただ全ての DV がこれに当てはまるわけではなく、ハネムーン期がなく緊張期が長く続く事もあります。

このサイクルが繰り返されると被害者は「こんなに怒らせるのは自分が悪いのだ」「この関係の中で何とかやっていきたい」と思うようになり、支配・被支配の関係はますます強化されていきます。

※このサイクルはあくまで1つの行動パターンであり、全てが当てはまるわけではなく、とらわれると暴力の本質を見誤ることになるので注意が必要です。



○ デート DV とは

DV と聞くと家庭を持つ夫婦の間で起こる事と考えてしまいがちですが、近年では学生や結婚前の恋人間などの暴力も問題になっており、これがデート DV と呼ばれています。

暴力の形態としてはDVと共通していますが、直接的な暴力よりも「行動を逐一報告させる」「異性のメアドを消すように強要される」など束縛や過干渉が多いのが特徴です。

親密な関係になってしまうと、少しぐらいの理不尽や不満は「好きなら受け入れて当然」「愛されてる証拠」だと考え、支配や暴力が見えなくなってしまう。自分が望んだ行動か、自分がどう感じているのかを大切にし、何かおかしいと感じたり、これは本当に愛情なのかと疑問に思ったりしたら周りに相談しましょう。

デート DV チェック

- ☐ 他の異性と話していると機嫌が悪くなり責められる
- ☐ 通話履歴をチェックされたり、勝手にアドレスを消されたりする
- ☐ 他の用事等がある場合、自分の事を最優先させないと怒り出す
- ☐ キスや性行為を無理強いされる
- ☐ 高価なプレゼントを無理やり買わせようとする
- ☐ 気に入らないことがあると叩かれたり、蹴られたりする

新型コロナウイルス感染症による生活環境の変化や経済上の不安により、DV や子どもへの虐待などの増加・深刻化が問題となっています。変化していく生活の中でパートナーとの関係に不安を抱えたりしていませんか？ 暴力を受けるのはあなたが悪いものではありません。

一人で悩まずまず相談しましょう→DV 相談ナビ（0570-0-55210）